

臨床検査

今月の主題 感染症検査における境界値の取り扱い方

2012 年 4 月号

Vol. 56 No. 4

巻頭言 感染症診療と境界値 岩田 敏

総論 感染症診療の基本的考え方 岩田 敏

薬剤感受性検査におけるブレイクポイントの
考え方 三嶋廣繁・他
感染症診療における血液培養の臨床的意義と評価 大曲貴夫
全自動細菌同定・感受性検査装置の現状と
新たな展開 大塚喜人

各論 院内で最も多く検出される多剤耐性菌
“MRSA” 二本柳伸・他
各種耐性因子の薬剤感受性試験による検出法 石井良和
感染症診療に必要な各種マーカーの
臨床的意義と評価 長谷川美幸・他
クォンティフェロン TB-3G 検査の
臨床的意義と評価 藤原 宏・他
感染症診療における遺伝子検査活用のコツと
ピットホール 大楠清文・他
Clostridium difficile 感染症における
培養検査・毒素検査の臨床的意義と評価 神谷 茂
百日咳における血清診断の意義と評価 岡田賢司

話題 VPD において、発症予防のために推奨される
抗体レベルとは 中山哲夫
薬効評価における PK-PD パラメータの
境界値とは 鈴木小夜・他
血液培養を適切に実施するための診療報酬点数とは 柳沢英二

●医学書院 刊

1 部定価 2,310 円(本体 2,200 円+税 5%)
年間購読料(税込)

冊子版	31,390 円
冊子+電子版/個人	36,390 円
冊子+電子版/共有	41,100 円
電子版/個人	31,390 円
電子版/共有	36,100 円